

船川利夫 追悼リサイタル 演奏曲目

一、箏と三絃の為の「嬉遊曲」 [開演：18:30～]

箏：高畠 一郎 三絃：井関 一博

● 1962 年 11 月作曲：恩師 古川太郎の為に作る。

一番簡単に作っている曲。生理なんでしょう。自然です。

船川 本人の弁。天性の ” 歌心 ” が偲ばれます。

最後のフレーズは、吉原の ” 新内流し ” をイメージしたという。

二、尺八三重奏 [18:40～]

1. 藤原 道山 2. 善養寺 恵介 3. 三橋 貴風

● 1965 年 12 月作曲：尺八三本会 委嘱作品

1. 三本の尺八の対比
2. 邦楽特有の合いの手をモチーフに
3. 尺八古典本曲風に
4. 全体のまとめ、第一楽章の思い直し

三、組曲「出雲路」 [18:55～]

尺八：菅原 久仁義

箏-1 泉山 章子 箏-2 高畠 一郎 十七絃 栗林 秀明

● 1960 年 10 月作曲：横山勝也の尺八が評判となり 有名となる。

1. 清水寺の暮色
2. 祭
3. 宍道湖の夕映え

四、箏四重奏 [19:12～]

尺八：藤原 道山

箏-1 池上 眞吾 箏-2 利根 英法 十七絃 毛塚 珠子

● 1965 年 3 月作曲：さわらび会 委嘱作品

1. MODERATO 淡泊に、あっさりと
2. LENT 淋しく
3. ALLEGRO 軽快に明るく、おどけて

五、追悼 阿字観

尺八：郡川 直樹

〔19:29～〕

「複協奏曲」

指揮：福田一雄 尺八独奏：船川利夫 箏独奏：羽賀幹子 他
邦楽アンサンブル（昭和40年録音：乙黒正昭所蔵原盤よりCD再生）

●1963年6月作曲：船川利夫 終生の代表作。

尺八演奏家としての力量も素晴らしい。

この曲の演奏を聴いて、邦楽の専門家になった者も多々居る。

－ 休憩 約15分 －

六、四季の月

歌と箏：井関 一博

〔20:05～〕

●1959年（春の月）1973年（夏の月・秋の月・冬の月）作曲

（春の月）梅が香に 昔をとへば 春の月 こたへぬ影ぞ袖に うつれる
（夏の月）むすぶ手に影みだれゆく 山のいの あかでも月のかたむきにけり
（秋の月）秋風に 棚びく雲の絶間より もれ出づる月の影のさやけさ
（冬の月）ぬばたまの 夜のみふれる白雪は 照る月のつもるなりけり

七、二本の尺八と群の為の合奏協奏曲「覚」

〔20:22～20:48 終演〕

指揮： 稲田 康 独奏尺八 1. 河野 正明 2. 三橋 貴風

合奏尺八1部-1 藤原 道山、水川 寿也 1部-2 田辺 頌山、原郷 隆

2部-1 菅原 久仁義、加藤 秀和、元永 拓

2部-2 素川 欣也、善養寺 恵介

●1970年10月作曲：僕は、天才！…だけど馬鹿だから…口癖です。

僕には、宗教心が有るんだよ…小乗仏教かなあ…。祈りなのです。

第一章 覚（しる） 第二章 覚（さめる）

第三章 覚（おぼえる） 第四章 覚（さとる）

この窓から、ご来光が 拝めます。

神々しい曲ができるかなあ～ア、、

※この演奏会の為に”渾身の曲”を準備中でした。

皆様に、新曲のお披露目が 叶えられません。

まことに残念至極で ございます。。

●平成20年8月5日 船川 宅にて 相模湾からのご来光を眺望する。

（熱海・中銀ライフケアマンション）

